

## 事業者さまの出力制御見通し(抜粋)

当社は、遠隔による出力制御システムの導入後には、時間単位の出力制御によるきめ細やかな出力制御（一律制御）を行います。出力制御システムが整備されるまでの間に、指定ルールの事業者さまに対して出力制御を行わざるを得ない場合には、日単位の出力制御を行うこととなります。

このため、当社に関しては、出力制御の見通しの算定については、以下の4通りがあります。算定中となっている時間単位の出力制御見通しについては、次の系統WGでお示しする予定です。

	実績ベース方式	合成2方式
今後、時間単位の出力制御を行った場合の見通し	算定中	算定中
出力制御システムが整備されるまでの間に指定ルール対象事業者さまに日単位の出力制御を行う場合の見通し		

①：太陽光・風力の日射計実績等に基づく出力実績を元に算定（実績ベース方式）

		追加接続（指定ルール事業者）		
		+ 100万kW	+ 200万kW	+ 300万kW
2013年度 〔最小需要 788万kW〕	出力制御日数 <sup>1</sup>	35日 (30日)	70日 (30日)	94日 (30日)
	出力制御率 <sup>2</sup>	16%	28%	36%
2012年度 〔最小需要 827万kW〕	出力制御日数 <sup>1</sup>	22日 (22日)	40日 (30日)	64日 (30日)
	出力制御率 <sup>2</sup>	8%	16%	26%
2011年度 〔最小需要 830万kW〕	出力制御日数 <sup>1</sup>	17日 (17日)	24日 (24日)	33日 (30日)
	出力制御率 <sup>2</sup>	6%	10%	14%

1 出力制御日数の括弧内は、旧ルール事業者さまの出力制御日数

2 出力制御率 = 出力制御電力量 / 年間発電可能電力量（出力制御前）

②：接続可能量算定時の太陽光・風力の出力想定を元に算定（合成2方式）<sup>3</sup>

(2013年度実績から算定)

	接続可能量817万kW (旧ルール事業者)	追加接続（指定ルール事業者）		
		+ 100万kW	+ 200万kW	+ 300万kW
出力制御日数	30日 <sup>4</sup> (九州全体92日)	117日	139日	165日
出力制御率 <sup>1</sup>	10% <sup>4</sup>	39%	45%	52%

3 実運用時の精度をある程度考慮した太陽光・風力出力（合成2方式での）想定

4 旧ルール事業者さまの出力制御対象は、契約電力500kW以上の事業者さまに限る。

なお、この出力制御見通しは、電力需要や電源の稼働状況などによって変動するものであり、実際の制御日数等を保証するものではありません。